

II-175

水と人の係わりにおける水神様の役割に関する基礎的研究

住宅・都市整備公団 正 松原 弘明
 東京工業大学工学部 正 平松 登志樹
 東京工業大学工学部 正 肥田野 登

1. 研究の背景と目的

近代における急激な都市化と工業化は人と水辺空間との関係を分断させてきた。水辺と関わりが深かった日本の歴史を今一度ふりかえり水とのうまいつきあいかたを模索することも意味があろう。本研究では説話の中で継承され人々の生活に影響を与えてきた水神様に着目する。従来の研究では水神様の役割に関する研究蓄積は少ない。そこで本研究の目的を以下の2点に定める。

- ①水神様の役割を抽出、分類する。
- ②水環境と水神様の関連性をパターン分類する。

2. 研究の対象地域と方法

2-1 対象地域

対象地域は愛知県の庄内川流域(流域面積1010km²、流路延長86km)とする。

2-2 研究の方法

本研究では説話の中で水を司る神仏等を水神と定義した。またデータの収集として2つ考えた。一つは文献の収集である。「水」に関する民話を愛知県と岐阜県の図書館の文献から収集した。もう一つの方法は現地に出向き川や土地の形状の調査に加え、聞き取り調査もおこなう方法である。

3. 調査概要

3-1 文献による説話の収集

庄内川流域の水の説話は全体で315話(愛知県203話、岐阜県112話)であった。この中で水神様の種類が明確なもの176話を分類すると図-1に示すように竜・蛇が飛び抜けて多いことがわかる。

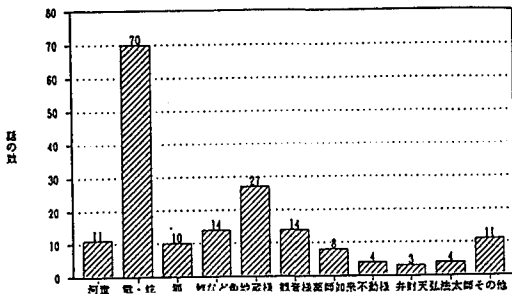


図-1 水神様の種類による分類

3-2 現地調査による民話の収集

収集した民話を基に庄内川流域の現地調査を行った。

表-1 に調査概要を示す。 表-1 調査概要

水神様の役割	蛇池	岩屋堂	和合酒	伊賀神社	船岩
地名	名古屋市西区	瀬戸市岩屋町	瑞浪市山ノ内	名古屋市西区	恵那郡山崎町
地形	平地の池	上流の滝	中流の淵	平地・庄内川	上流・肥田川
民話に見られる水神の役割	雨ごいの象徴 水辺を守る	雨ごいの象徴	命を助ける	洪水を防ぐ	雨ごいの象徴
調査日時	平成4年1月24日	平成4年1月23日	平成4年1月23日	平成4年1月21日	平成4年1月20日
調査対象	早川文雄	中川 止	伊東茂雄	杉山 守	山崎町役場
水神様の表現	八咫鏡王 弁天様	水神様	河童 大蛇(源の王)	“犬の王”	水神様 不動明王

3-3 水神様の役割の抽出

文献、聞き取り調査によって収集された324話の説話のうち役割が把握できた185話について説話のタイプ、水域によって分類したものを表-2に示す。

表-2 水神様の役割の分類と地域分布

	水神様の役割	話数	上流			中流			下流			本流・支流	合計
			池	淵	他	池	淵	他	池	淵	他		
自然との関係	水と水辺を守る	12	2	1		2	1		2	1	1	1	46
	魚などの生物を守る	26	2	6	1	2	3		2	14	4	19	
	漁を容認する	5		1						1	2		
	地形の容認する	5						3		2		2	
神との関係	洪水を抑える	1							1	2	2		38
	雨を降らせる	31	2	3	6	2	3	6	3	6		4	
	雲を支配する	4								4			
	病気を直す	21	1		4	2	8	1	5		5		
身体との関係	子供を得る	2			1				1	2	1	1	40
	長寿になる	6								5	2	1	
	水難から命を守る	8			1			2	3	2	1	6	
	危険を示す	6	1	2	1		5		2	4		6	
宗教的	運送教育の手帳	6	1	2	1			3	1	2	1	2	25
	精神的な支えとなる	10	1		1			1		3	1	2	
	人々を供養する	9	1					3	3	3	1	3	
	相互扶助を機能させる	11	2	1	1	1	1	1	4	4	3	3	
人間との関係	温泉の位置を示す	6						3			11	3	36
	水を公平に分ける	5						4		1	3	3	
	人を集める	14			3			4	2	5	3	4	
	合計	185	10	14	22	10	14	29	26	60	37	55	

このように水神様の役割は「自然との関係」、「神との関係」、「人間との関係」の3つに分類できる。特に「人間との関係」は従来軽視されてきた役割であり、その中の「人を集める役割」と「相互扶助を機能させる役割」の2つは新たな解釈としてつけ加えたものである。

説話の数をみると神との関係(103話)が一番多く、特に雨を降らせる役割(31話)は全域にわたっている。次いで自然との関係(46話)が多い。

4-1 水辺を守る役割に関する考察

まず第一に水質汚染に強く関係するものとして水と水辺をまもる役割をとりあげて、水環境との関連を調べた。典型的な8例を表-3に示す。

表-3 水質保全の強さと水環境

分類	水域名	都市名	← 水質保全の強さ →										水環境	水神の行為	人間の行為
			水に近づく	水を汚す	泳ぐ	物を捨てる	雨ごい	西	上	中	下	池			
接触禁止型	竜宮淵	恵那市	×	×	×	×	×	×	×	×	×	上	池	○	衣を入れる
接触許容型	蛇池	多治見市	×	×	×	×	×	×	×	×	×	中	池	○	紙を捨てる
	おつじ池	名古屋市中村区	○	○	×	×	×	×	×	×	×	下	池	○	お糞流し
使用許容型	更池	名古屋市中村区	○	○	×	×	×	×	×	×	×	下	池	○	おがむ
	井戸	多治見市	○	○	×	×	×	×	×	×	×	下	井	○	池をきれいにする
不明型	船岩	山岡町	×	×	×	×	×	×	×	×	×	上	池	○	水をかき出す
	雨池	山岡町	×	×	×	×	×	×	×	×	×	上	池	○	水をかき出す

注：○：許容 ×：禁止 -：不明

水神様の「水と水辺を守る役割」は人に対する水質保全の規範の程度によって4つのパターンに分類できる。竜宮淵のように近づくことさえ禁止している「接触禁止型」、蛇池のように近づくのは許すが水を汚してはいけない「接触許容型」、井戸神のように日常は使用して汚すのを許すが、雨ごいや祭りの時に掃除をしてきれいにする「使用許可型」、船岩のように普段は使用しないが雨ごいや祭りの時に水をかきだしてきれいにする「不明型」の4つである。水環境との関連を見ると、上・中流の淵や源流は、厳しい水質の保全がなされており、逆に下流の池は比較的緩やかである。また日常きびしいタブーのある水域では年に数回位は人々が集まって汚す行為が行われている。例えば竜宮淵では雨ごいの時に人が集まり、衣を淵に投げ入れる行為が行われている。また蛇池でも年に2回祭りが催され、お糞流しや花火の打ち上げが行われる。

さらに聞き取り調査によって、タブーは日常的に守られていない場合があることが判明した。例えば蛇池では遊泳禁止だが、近くの子供は泳いだそうだし、神聖な水域に関わらず村の子供はいたずらをした船岩の例もある。このことから「水と水辺を守る役割」はその水域を良く知っている内部の人に対するものでなく、外部の人に対する「防御」であると解釈できる。水域の特性を知らないよそのから自分達の自然や利益を守るための「防御」である。

5-2 人を集める役割

それでは水辺にはどんな魅力があるだろうか。民話「不動明王の滝」では不動明王は、「滝のよく見える眺めのよい所に安置してくれ」とおつげをした。このように水神様が景観のよいところにおかれ、お祭り時等に「人を集める役割」を果たしている。そこで、人が集まる水辺空間を原因によって分類した。水神様の働き、および水環境との関係を表-4に示す。

表-4 人が集まる水辺空間と水神様の特徴

分類	水環境	褒美	罰	実態	祭り	集客範囲
信仰型	平地の池、淵	雨乞の象徴・病気を直す	泳ぐと巻き込まれる	信仰対象	あり	大
自然型	中流の淵	-	河童がリリヲを抜く	水泳場、釣場	-	小
景観型	山間の滝	景観が良い・病気を直す	-	風光明媚	あり	中

水神様が信仰の対象となり人々を集めている「信仰型」は平地の小さな水域に多く、さらに罰によって水質を維持していた。また「自然型」では淵に神秘的な魅力を感じて近づく人に水の危険と魚資源の有用性を示す役割ももっている。逆に「景観型」は山間部にあつて普通なら見過ごされる水辺空間であるが、不動明王や龍神等をまつてお祭りを行う事によって、人を集め景観的魅力を紹介している。

5-3 相互扶助を機能させる役割

膳碗伝説のように水辺空間を媒介として財の再分配、相互扶助をしていると考えられる水神がある。相互扶助の時間的、空間的範囲によって分類し、水環境との関連を表-5に示す。

表-5 相互扶助機能のパターンと水環境

分類	水環境	時間範囲	空間範囲	分配された財	代表的民話
地域内分配型	上流の淵・池	-	定点	膳碗	晩食し酒
地域外分配型	本流	洪水時など	上流と下流	地蔵、不動様	まき不動
世代間分配型	下流の池	～400年	定点	膳碗如来	更池

「地域内扶助型」「地域外扶助型」、「世代感扶助型」の3つに分類される。「地域内扶助型」は村人が、必要となるときに何度も、淵や池から膳碗を借りられるという膳碗伝説のような民話に書かれている。水の滞留や循環により膳碗等が滞留し、一地点で相互扶助を機能させる。また「地域外扶助型」は洪水の時に神仏等が下流に流れ着き信仰されるような民話の中に見いだせる上流と下流という地域を超えた相互扶助の機能である。「世代間扶助型」は、池の仏像が400年後に声を出す、時代を超えた民話の事を指す。

6. 結論

①水神様の役割は「自然との関係」、「神との関係」、「人間との関係」の3つに分けられ、人間との関係の中で「人を集める役割」、「相互扶助を機能させる役割」を新たに抽出した。

②水神様の役割である水と水辺を守る役割は、「接触禁止型」、「接触許容型」、「使用許可型」、「不明型」の4つに分類され、防御の機能がある。